



胃がん・食道がんの 原因や予防について

稲城市保健センター ☎378-3421

「親族が胃がん（または食道がん）になったが、家系によるものか。自分は大丈夫か。」という質問をされることがあります。ご心配は分かりますが、むやみに不安になる必要はありません。

せん。

胃がんは、ピロリ菌感染が原因ということがはっきりしています。ピロリ菌保菌者がみんな胃がんになるわけではありませんが、ピロリ菌感染のない胃がんはとても珍しいことから、除菌が胃がんの予防に有効と考えられています。

ピロリ菌の感染経路は充分には分かっていませんが、飲料水（井戸水）や離乳食の口移しなどが経路と考えられています。生活環境が重要です。ピロリ菌感染の多い家族、少ない家族、というのがあります。感染症なのでピロリ

菌家系という言葉は不適切でしょう。胃がんは家系ではなく、ピロリ菌による「感染症」をもとにした病気という認識で、ピロリ菌感染のチェックや除菌の必要性の有無をかかりつけ医と相談していただきたいと思えます。

お酒に強い・弱いという違いは、摂取したアルコールを分解（代謝と言います）する酵素をどれくらい持っているかの違いです。酵素は遺伝子によって決まることから、お酒に強い家系・弱い家系があると言えます。ある遺伝子型ではお酒を飲むと顔が赤くな

るという特徴があり、特殊な検査をしなくても見た目で分かります。このタイプの方が喫煙・飲酒を行うと高率に食道がん・咽頭がんなどを発症することから、食道がんについては「家系＋生活習慣病」といえるでしょう。

お酒を飲むと顔が赤くなるのであれば、禁煙・節酒で食道がんを予防しましょう。喫煙も飲酒も心当たりがあるのなら、内視鏡検査を受けることをお勧めします。

稲城市医師会 平岩訓彦ひらいわくにひこ